

「北海道近現代史研究会」の活動状況について

2019年8月15日は「北海道命名150年」の節目に当たり、これを契機に蝦夷地・北海道史の探求への関心が道内でも高まっています。

こうしたなか、当研究所でも、2019年度より、北海道の近現代史に関する研究会を設置し、近世期以降の蝦夷地・北海道の地方自治および社会インフラの整備などに関する調査・研究に着手しました。

2019年度は、次年度以降の研究会としての活動のスタートに向けた準備期間と位置づけ、「北海道史研究プロジェクト」の仮称のもと、主に基本的な情報収集に取り組みました。

2020年度からは、研究会名を「北海道近現代史研究会」と決定し、活動を本格化させるとともに、行政機構の変遷、アイヌ民族の近世・近代史、ロシアを中心とする諸外国との関係を基軸として、北海道の近現代史の多角的な視点に基づく調査・研究を進めています。

本研究会の2019～23年度の活動は以下のとおりです。なお、現地視察の視察先については、別紙の一覧をご参照ください。

【2019年度】

(1) 旭川市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年7月15日（月）
- 訪問地 旭川市
- ガイド 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
杉谷光一（当研究所常務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

(2) 第1回学習会

- 日 時 2019年7月29日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内 容
講演「北海道150年と地方自治－医師で開拓者（陸別）・関寛斎の足跡を辿ってみえること」
講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授）
- 記録等 所報2019年9月号（第608号）に掲載
－ 竹中英泰「関寛斎の足跡から見える明治の北海道」

(3) 第2回学習会

- 日 時 2019年8月3日(土) 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 5階 第3会議室
- 内 容
講演「アイヌ文化と北海道」
講師：本田優子 氏(札幌大学教授)
- 記録等 所報2020年1月号(第612号)に掲載
－ 本田優子「アイヌ文化と北海道」

(4) 小樽市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年9月18日(水)
- 訪問地 小樽市
- ガイド 三輪修彪(北海道労働文化協会理事/元当研究所専務理事)
- 参加者 竹中英泰(旭川大学名誉教授)
杉谷光一(当研究所常務理事)
正木浩司(当研究所研究員)

(5) 第3回学習会

- 日 時 2019年10月11日(金) 15:30～17:30
- 会 場 北海道自治労会館 3階 第1会議室
- 内 容
講演「北海道150年の光と影～「開拓」と“地方自治”をめぐって」
講師：谷本晃久 氏(北海道大学大学院教授)
- 記録等 所報2020年3月号(第614号)に掲載
－ 谷本晃久「北海道150年の光と影－「開拓」と「地方自治」をめぐって」

(6) 札幌村郷土記念館の視察・ヒアリング

- 日 時 2019年11月20日(水) 14:00～15:00
- 会 場 札幌村郷土記念館(札幌市東区) 1階ロビー
- テーマ 札幌村郷土記念館の設立経緯、展示物の概要、運営体制・事業の現状
- 対応者 玉井晶子 氏(札幌村郷土記念館保存会 事務局長)
山田治仁 氏(札幌村郷土記念館 館長)
- 記録等 所報2020年5月号(第616号)に掲載
－ 正木浩司「大友亀太郎の事績と札幌村の生活史を伝える－「札幌村郷土記念館」を訪ねて」

【2020年度】

(1) 第4回学習会

- 日 時 2020年7月17日(金) 13:00～16:00
- 会 場 旭川市まちなか市民プラザ 会議室1
- 内 容
講義「近世の蝦夷地における日露関係について
ーラクスマンおよびレザノフの来航を中心に」
講師：竹中英泰 氏(旭川大学名誉教授／当研究所理事)
- 記録等 所報2020年9月号(第620号)に掲載
ー 竹中英泰「近世期の蝦夷地における日ロ関係史について
ー現代の北海道の地方自治との関わりを中心に」

(2) 第1回現地視察

- 日 時 2020年8月5日(水)～8日(土)
- 訪問地 函館市、松前町、江差町、木古内町
- 参加者 押谷 一(酪農学園大学教授)
三輪修彪(北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事)
正木浩司(当研究所研究員)
- 記録等 所報2020年11月号(第622号)に掲載
ー 正木浩司「北海道近現代史研究会・第1回現地視察レポート
ー函館市・松前町・江差町を訪ねて」
ー 三輪修彪「アイヌモシリの行方と松前」

(3) 北海道労働文化協会主催「第41回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2020年9月26日(土) 9:00～17:00
- テーマ さっぽろ文化遺産の再発見
- 訪問地 札幌市中央区・南区・東区
※ 特別講演「札幌の文化財」(講師＝山川伸也・札幌市職員)
- 参加者 三輪修彪(北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事)
正木浩司(当研究所研究員)
- 記録等 所報2021年1月号(第624号)に掲載
ー 正木浩司「文化遺産の視察を通じて札幌の近代史を学び直す
ー「第41回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

(4) 第5回学習会

- 日 時 2020年10月28日(水) 15:00～17:10
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内 容
講演「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」
講師：小田 清 氏(北海学園大学名誉教授)

- 記録等 所報2021年1月号（第624号）に掲載
 - － 小田 清「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」

(5) 第2回現地視察

- 日時 2020年11月5日（木）～7日（土）
- 訪問地 北見市、佐呂間町、美幌町、網走市
- ガイド 中川 功 氏（元留辺薬町職員） － 北見市留辺薬町地区のみ
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2021年3月号（第626号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第2回現地視察レポート
－北見市・佐呂間町・網走市を訪ねて」
 - － 押谷 一「足尾鉍毒問題と北海道開拓のため移住政策」

(6) 第6回学習会

- 日時 2021年2月26日（金）15:00～17:00
- 会場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内容 講演「アイヌの景観史」
講師：瀬川拓郎 氏（札幌大学教授）
- 記録等 所報2021年5月号（第629号）に掲載
 - － 瀬川拓郎「アイヌの景観史ー上川盆地の地形・生態系適応の歴史を例に」

【2021年度】

(1) 第3回現地視察

- 日時 2021年10月13日（水）～16日（土）
- 訪問地 根室市、厚岸町、標茶町、釧路市、鶴居村
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2022年3月号（第638号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察レポート
－根室市・厚岸町・標茶町・釧路市を訪ねて」

(2) 第7回学習会

- 日 時 2021年10月15日（金）16:00～18:00
※ 上記第3回現地視察の実施期間中に釧路市内で開催。
- 会 場 釧路市生涯学習センターまなぼと 7階 学習室703
- 内 容
講演「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」
講師：岩崎守男 氏（元樺太連盟釧路支部長／元道議）
- 記録等 所報2022年3月号（第638号）に掲載
－ 岩崎守男「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」

(3) 第4回現地視察

- 日 時 2021年10月29日（金）
- 訪問地 石狩市、当別町、月形町、浦臼町、奈井江町、三笠市
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2022年9月号（第644号）に掲載
－ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第4回現地視察レポート
－石狩北部・中空知・南空知を訪ねて」

(4) 北海道労働文化協会主催「第42回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2021年10月30日（土）9:00～17:00
- テーマ さっぽろ開拓の歴史をたどる
- 訪問地 札幌市西区・手稲区
※ 特別講演「札幌の屯田兵」（講師＝山川伸也・札幌市職員）
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2022年1月号（第636号）に掲載
－ 正木浩司「札幌開拓の残照を西区・手稲区に迎る
－「第42回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

(5) 紋別市の現地視察

- 日 時 2021年12月26日（日）
※ 外国人共生研究会の紋別市視察（12月27日）に合わせて実施。
- 訪問地 紋別市
- 視察先 紋別市立博物館、紋別巖島神社
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）

【2022年度】

(1) 岩崎守男氏所蔵の資料の扱いに関する会議

- 日 時 2022年4月5日(火) 13:00～15:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 出席者 岩崎守男 氏(元道議)
舟山廣治 氏(元道議)
竹中英泰(旭川大学名誉教授)
押谷 一(酪農学園大学名誉教授)
三輪修彪(北海道労働文化協会理事/元当研究所専務理事)
正木浩司(当研究所研究員)
- 内 容
 - ・ 課題提起「北海道近現代史における強制労働関係資料の調査について」
提起者：岩崎守男 氏(元北海道議会議員)
 - ・ 出席者の意見交換

(2) 第5回現地視察

- 日 時 2022年7月1日(金)
- 訪問地 江別市
- 参加者 竹中英泰(旭川大学名誉教授)
押谷 一(酪農学園大学名誉教授)
三輪修彪(北海道労働文化協会理事/元当研究所専務理事)
正木浩司(当研究所研究員)
- 記録等 所報2023年1月号(第648号)に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第5回現地視察レポート
－江別市を訪ねて」

(3) 北海道立文学館・企画展の観覧

- 日 時 2022年7月22日(金)
- 訪問地 札幌市中央区
- 内 容 企画展「地図と文学の素敵な関係」
- 参加者 正木浩司(当研究所研究員)

(4) 第8回学習会

- 日 時 2022年12月7日(水) 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内 容 講演「北方領土返還運動交渉史について－根室市の視点から」
講師：本田良一 氏(北海道新聞社編集局編集委員)

- 記録等 所報2023年3月号（第650号）に掲載
 - － 本田良一「北方領土返還運動の歴史と今後の展望－根室の視点から」

(5) 第6回現地視察

- 日時 2022年12月9日（金）～11日（日）
- 訪問地 伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市
- 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2023年7月号（第654号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第6回現地視察レポート－胆振5市町を訪ねて」

(6) 第3回現地視察・補足視察

- 日時 2023年2月18日（土）
- 訪問地 釧路市
- ガイド 岩崎守男 氏（元道議）
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2023年11月号（第658号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察補足レポート－釧路市を再訪して」

(7) 第9回学習会

- 日時 2023年3月27日（月）15:00～17:00
- 会場 北海道自治労会館 4階 第5会議室
- 内容 講演「北海道の地理的条件と地政学」
講師：押谷 一 氏（酪農学園大学名誉教授）
- 記録等 所報2023年7月号（第654号）に掲載
 - － 押谷 一「地理学・地政学から見た北海道」

【2023年度】

(1) 第6回現地視察の補足視察①

- 日時 2023年5月19日（金）
- 訪問地 北海道大学植物園（札幌市中央区）
- 視察先 バチエラー記念館／北方民族資料室 ほか
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）

- 記録等 2022年度－（5）参照

（2） 第7回現地視察

- 日時 2023年5月26日（金）～28日（日）
- 訪問地 新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町、広尾町、大樹町、豊頃町
- 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2024年1月号（第654号）に前編を掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第7回現地視察レポート（前編）一日高中東部4町を訪ねて」
 - － 後編は所報2024年5月号（第664号）に掲載予定

（3） 第6回現地視察の補足視察②

- 日時 2023年6月1日（木）～2日（金）
- 訪問地 伊達市、苫小牧市
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2022年度－（5）参照

（4） 第7回現地視察の補足視察

- 日時 2023年6月13日（火）
- 視察先 札幌村郷土記念館（札幌市東区）
- テーマ 第7回現地視察を踏まえての札幌村郷土記念館の展示物・活動の確認
- 対応者 玉井晶子 氏（札幌村郷土記念館保存会 事務局長）
山田治仁 氏（札幌村郷土記念館 館長）
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2023年度－（2）参照

（5） 第8回現地視察

- 日時 2023年9月14日（木）～17日（日）
- 訪問地 増毛町、留萌市、小平町、苫前町、羽幌町、天塩町、豊富町、稚内市
- 参加者 竹中英泰（旭川市立大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報に2024年度中に掲載予定（掲載号未定）

（6） 第10回学習会

- 日時 2023年9月27日（水）15:00～17:00

- 会 場 北海道自治労会館 4階 第5会議室
- 内 容
講演「屯田兵制度から見た近現代の北海道」
講師：竹中英泰 氏（旭川市立大学名誉教授）
- 記録等 所報2024年3月号（第662号）に掲載
－ 竹中英泰「屯田兵制度から見た近現代の北海道」

（7） 第9回現地視察

- 日 時 2024年3月15日（金）
- 訪問先 北海道博物館（札幌市厚別区）
- ガイド 舟山直治 氏（北海道博物館学芸員）
- 参加者 竹中英泰（旭川市立大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上